

那覇空港滑走路の南3000  
 米程の距離に面積約0・18平  
 方キロメートルほどの小島があ  
 る。小島の名は瀬長島とい  
 う。滑走路に近いことから、  
 空港を発着する大型旅客機が  
 低空で飛び交うため、大迫力  
 で航空機を眺められる鑑賞・  
 撮影の人気スポットとして知  
 られる。

瀬長島は琉球開闢神話に登  
 場する琉球開闢の神、アマミ  
 キヨの子、南海大神加那志な  
 んかいづかみかなしがこ  
 の島に住み、そこから豊見城  
 の世立てが始まったという伝  
 説が残る豊見城発祥の地とさ  
 れる。

瀬長島は現在無人島である  
 が、戦前までは約30戸の集落  
 があり半農半漁で生計をたて  
 ていた。沖縄戦直前に住民は  
 島外退去を命ぜられ、沖縄戦  
 では日本軍の施設であった小



島の上空を大型旅客機が低空で飛び交う



島内にあった岩で再現され  
 た子宝岩（イシイリ）

一般財団法人日本不動産研究所<sup>③</sup>

## 地域資源を生かす

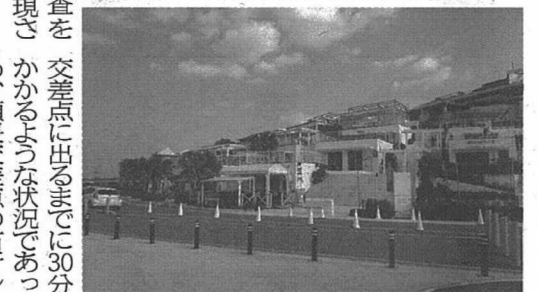
～まちづくりからインバウンドまで

### 那覇「神の島」瀬長島

後はそのまま島全体が米軍基  
 地として接収された。その  
 後、昭和52年に返還された  
 が、その間に子宝岩（イシイ  
 リ）は戦争で破壊され、島  
 内の拝所は対岸に集合移設と  
 なり、島の頂部にあった瀬長  
 グスクの遺構も基地建設によ  
 りそのほとんどが破壊されて  
 しまった。返還後に4面の野  
 球場等のスポーツ広場が整備  
 されたが、数年前まではこれ  
 らの運動場やバッチینگセ  
 ンター等があるのみでほとん  
 ど何も無い島であった。



返還後に4面の野球場等の  
 スポーツ広場が整備された



海岸沿いに整備されたウミカジテラス

## 戦禍による壊滅から復興

# 豊かな観光資源掘り起こす

そんな瀬長島であったが、  
 島の南側に位置する豊崎地区  
 とともに05年3月に「エア  
 ウェイ・リゾート豊見城」と  
 して沖縄振興特別措置法に基  
 づく観光振興地域に指定さ  
 れ、観光整備が期待されるよ  
 うになった。その後、空の駅  
 物産センターが整備され、13  
 年に温泉ホテルがオープンし  
 た。更に15年には高台に展望  
 公園が完成し、広場や遊歩  
 道、展望台等が整備され、西  
 側の海岸沿いに傾斜を活かし  
 た商業施設「ウミカジテラス」  
 も開業した。また、戦争によ  
 り破壊された子宝岩も地元の

人々からの聞き取り調査を  
 し、島内の岩を使って再現さ  
 れた。今ではレンタカー  
 テーションが近いこともあ  
 り、車を返却する前に立ち寄  
 る外国人観光客や修学旅行生  
 等も多く訪れ賑わいを見せて  
 いる。

### 2008万人が来島

観光整備が進んだ瀬長島の  
 来島者は17年度には約288  
 万人となり、首里城公園の年  
 間利用者数と同水準となるま  
 でに増加した。その一方で、  
 島への交通手段は、1本の海  
 中道路しかないため道路渋滞  
 が激しく、島から対岸側の入  
 口に当たる国道331号瀬長  
 桶田邦広

島には米軍が建造した外周  
 道路に並ぶ石柱、米軍が弾薬  
 庫として利用していた当時の  
 石垣などの戦争遺跡も残って  
 いるが、豊見城発祥の地とさ  
 れる史跡や拝所群は一部が残  
 るのみであり、琉球の時代か  
 ら「神の島」と崇められてき  
 た面影は薄れつつあることも  
 否めない。現在の瀬長島は沖  
 縄を代表する観光地の一つと  
 して、観光施設も充実しつつ  
 あるが、観光客に加え、沖縄  
 信仰の歴史と太平洋戦争によ  
 る遺跡が残る地として語り継  
 がれることを期待したい。

（那覇支所、不動産鑑定士・  
 桶田邦広）